

秋田ブランドの野菜が販売できない！

売りたいくても野菜が運べない そんな時代が すぐそこに。

資料 3

秋田の日本一の枝豆、運べねぐなって
売られねぐなるって本当だべか？
みんな待ってるべな
何とせば、運ぶことができるんだべ？



JAOOの責任者さん

私たちが秋田の良いものを全国に、
いつまでも運びたいと願っています。

そのために、JAの皆様と一緒に対策を
考えましょう。



秋田県トラック協会 マスコット
「とらっくん」です。

どうして運べなくなるの？

その1 **トラックドライバーのなり手が不足しています。**

・ドライバーは、他の業界より労働時間が2割長く賃金が2割安いと言われてています。

その2 **国の定めた運転基準が守れません。**

・1日の拘束時間・休息期間(仮眠時間など)・休憩時間・運転時間が細かく厳しく制定されています。(過労運転防止の為)
・昔みたいに、たくさん走ってその分たくさん稼ぎたいけど、走れない！



運ぶためのキーワードは

時間の短縮か～！

拘束時間・休息期間(仮眠時間など)・休憩時間・運転時間



時間の短縮って関東までの距離は変わらないし

無駄な時間を削るしかないな〜。
何か良い方法はねべかなー。

今までは、1台の大型車で集荷・幹線輸送していました。

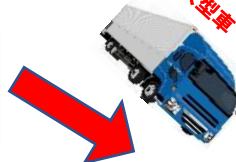
A出荷所



C出荷所



大型車



東京都 □□市場



B出荷所



大型車



大型車



大型車の拘束時間 A出荷所 ⇒ 東京都□□市場 = 非常に長時間

各出荷所での積込時間と市場での取卸に時間がかかると更に延びます！



集荷・幹線の分離化と出荷場所の集約と
一貫パレット輸送をする事で！

集荷 = 中・小型車

これだと時間が短縮されるな
一回 実験してみるべ！

A出荷所



C出荷所



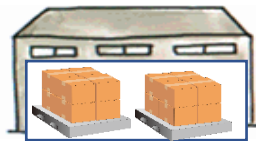
中・小型



B出荷所



JA〇〇総合出荷所



大型車



出荷所の集約と一貫パレット化

幹線 = 大型車

東京都□□市場



秋田の未来の物流を考える協議会

農林水産物流検討ワーキンググループ

秋田県産業労働部 ・ (公社) 秋田県トラック協会